

次期基礎調査において実施する調査スケジュール案（調査計画案）

<調査計画案の考え方について>

- 成果のアウトプットのタイミングは前回調査との間隔を考慮して設定した。
- 各調査の実施期間は、前回調査の実施期間を考慮しつつ、基本的に3～5年とした（但し、調査項目によっては毎年や10年とした）。
- 中間評価のタイミングでマスタープランの進捗確認、必要に応じて調査計画の修正等を検討する。
- 令和13～14年度に調査成果のとりまとめとともに令和15年度以降に実施する調査計画を検討する。
- 継続的に調査を実施するため、各年度で実施する調査項目数の平準化を図った。
- 本計画は現時点（マスタープラン作成時：令和5年3月）での想定であり、社会情勢や政策ニーズ等により調査項目や実施時期について変更する場合がある。

大区分	小区分	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	令和9年度 (2027)	令和10年度 (2028)	令和11年度 (2029)	令和12年度 (2030)	令和13年度 (2031)	令和14年度 (2032)
とりまとめ(総合解析含む)		総合解析（3カ年）					中間評価				とりまとめ・次期計画検討（2カ年）
①種の分布調査	哺乳類						調査実施（4カ年）				
	両生類・爬虫類				調査実施（4カ年）						
	昆虫類	調査実施（4カ年）									
	淡水魚類	調査実施（R4～4カ年）									
	陸産及び淡水産貝類								調査実施（3カ年）		
②生態系調査	植生	調査設計検討・準備		更新実施（10カ年）							
	衛星植生速報図	調査設計検討・準備		調査実施（5カ年）				調査実施（5カ年）			
	海岸			調査実施（3カ年）							
	干潟			調査実施（3カ年）							
	藻場						調査実施（3カ年）				
	サンゴ礁					調査実施（5カ年）					
	巨樹巨木林	毎年実施									
③生物多様性情報収集調査	基礎情報収集・整備	毎年実施									
	いきもの全般	毎年実施（いきものログの運用を含む）									
備考				(JBO4)	(30by30中間評価)			(JBO5)	(新々国家戦略)		

- ・次期基礎調査における調査項目の取り扱い（案）（資料2-1）において優先的に調査実施を検討（◎）とした項目を示した。
- ・次期基礎調査における調査項目の取り扱い（案）において、◎の調査に組み込んで実施を検討（○）とした項目については次期基礎調査実施設計に対する与件（資料2-2）で整理した。
- ・令和5～令和14年度の10年間分を記載しており、その前後をまたぐ期間は上記表には記載していない（淡水魚類、衛星植生速報図、毎年実施の調査項目）。